

2019年4月1日～2020年7月31日の間に 当科において、超音波検査によるオトガイ舌骨筋評価を受けられた方へ

—「回復期リハビリテーション病棟入院患者を対象とした嚥下関連筋の評価」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学リハビリテーション医学	講師	山本 五弥子
研究分担者	川崎医科大学リハビリテーション医学	講師	新井 伸征
		臨床助教	金丸 詩門、西谷 春彦、佐藤 智史
		大学院生	安永 雅
川崎医科大学附属病院栄養部		管理栄養士	山崎 幸、堀尾 佳子、井上 真実

1. 研究の概要

食物を飲み込むことを嚥下と言います。この嚥下にかかわる筋肉（嚥下関連筋）が萎縮すると、嚥下機能が低下することが知られています。嚥下機能が低下すると、肺炎や窒息など、生命にかかわる問題を引き起こす可能性があるため、当院リハビリテーション科では、超音波装置を用いて嚥下関連筋のひとつであるオトガイ舌骨筋の筋肉量を評価しています。本研究は、この超音波検査を行った方の診療録の情報を確認し、どのような方の嚥下関連筋が萎縮しやすいのか、どのような治療を行うと嚥下関連筋の萎縮を改善することができるのかを調査します。本研究結果をもとに、嚥下障害の予防や改善に役立てたいと考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年4月1日～2020年7月31日の間に川崎医科大学附属病院リハビリテーション科において、超音波によるオトガイ舌骨筋の評価を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

2020年10月19日～2022年3月31日

3) 研究方法

2019年4月1日～2020年7月31日の間に当院回復期リハビリテーション病棟に入院していた方で、研究者が診療情報をもとに、超音波によるオトガイ舌骨筋の評価を受けられた方を選び、その検査結果の分析を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：超音波によるオトガイ舌骨筋の筋肉量

年齢、性別、疾患名、日常生活動作、嚥下機能、血液検査結果 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学リハビリテーシ

ョン医学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2021 年 12 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 リハビリテーション科

氏名：山本 五弥子

電話：086-462-1111 内線 44221（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

E-mail：s-shimizu@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。